

事務事業マネジメントシート(令和 3年度実績と令和 4年度計画)

令和 4年 6月 1日 更新

事務事業名	行政改革大綱・集中改革プラン進行管理事業					<input type="checkbox"/> マニフェスト関連	<input checked="" type="checkbox"/> 全庁横断課題関連	<input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連	
総合計画体系	政策	1	自治の健康			所属部	市長公室	課長名	松田 勝
	施策	2	行政改革の推進			所属課	企画課	担当者名	菊永 陽
施策の柱	3	計画的な施策・事業の推進			所属班	企画広報班	(内線)	1253	
予算科目	会計一般	款 2	項 1	目 10	事業連番 11033	根拠法令	地方公共団体における行政改革の推進のための新たな指針(平成17年3月29)		
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 3年度で終了 <input type="checkbox"/> 3年度から開始					事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 18 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)		

★事務事業の概要 (PLAN)

【事業の内容】	令和2年度からの4年間を計画期間とする第4期行政改革大綱に基づく集中改革プランの進行管理と成果の把握を行う事業。集中改革プランについては、項目ごとに担当課を定め、担当課において責任を持って検討項目や目標達成に向けて取り組んでもらうこととしている。
【業務の流れ】	<ul style="list-style-type: none"> 集中改革プランの掲載項目ごとに取組状況を担当課から調査し、進捗状況を把握する。 把握結果に基づき、次年度以降のプラン内容を見直す。 プランの進捗状況を基に、大綱の達成状況を測定する。 プランと大綱の進捗状況とプランの見直し結果を総合政策審議会に報告し、公表する。
【主な予算費目】	予算計上なし
【意見や要望】	特になし

1 現状把握の部 (DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標	新規・拡充区分:
① 手段(主な活動) 3年度実績(3年度に行った主な活動)(DO)	4年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN)
令和2年度の取り組みと財政的な効果の調査及び令和3年度の取り組み計画の各担当への調査を行い、調査結果を市ホームページで公表した。	令和3年度取り組み結果の取りまとめと取りまとめ結果の公表
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位) 予算の主な増減の理由
→ ア: 集中改革プラン	計画 予算計上なし
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	② 対象指標(対象の大きさを表す指標) (単位)
行政改革大綱・集中改革プラン	→ ア: プラン掲載項目 項目
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	③ 成果指標(意図の達成度を表す指標) (単位)
計画どおり進められる	→ ア: プラン掲載項目実施率 %
*③成果指標設定の理由と 4年度目標値設定の根拠	
集中改革プランの進捗状況を把握することで、「意図」の成果がわかる	
総トータルコスト 全体計画 ~ 年度 0	

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	31年度 実績(決算)	2年度 実績(決算)	3年度 目標(当初予算)	3年度 実績(決算)	4年度 目標(当初予算)	5年度 予定	6年度 見込	7年度 見込
① 活動指標	ア 計画		1	1	1	1	1	1	1	1
	イ									
② 対象指標	ア 項目		17	18	18	18	18	18	18	18
	イ									
③ 成果指標	ア %		82.3	50	60	0	70	80	90	95
	イ									
投資 入 費 量	財源内訳	国庫支出金	千円							
		都道府県支出金	千円							
		地方債	千円							
		その他	千円							
		繰入金	千円							
		一般財源	千円							
	(A) 事業費計	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
(A)のうち指定経費	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	
(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	
人件費	正規職員従事人数	人	2	5	2	8	2	2	2	2
	延べ業務時間	時間	550	269	300	379	300	0	0	0
(B) 人件費計	千円	2,179	1,060	1,195	1,481	1,195	0	0	0	
トータルコスト(A)+(B)	千円	2,179	1,060	1,195	1,481	1,195	0	0	0	

事務事業名	行政改革大綱・集中改革プラン進行管理事業	所属部	市長公室	所属課	企画課
-------	----------------------	-----	------	-----	-----

2 評価の部 (CHECK)

*原則は3年度の事後評価、ただし複数年度事業は3年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	① 3年度目標達成度評価	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した <input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【理由】 全ての項目について取り組みが行われたため目標達成とした
	② 4年度目標達成見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】 第4期集中改革プランの取り組み項目においても、進捗が見込まれるため
有効性評価	③ 成果の向上余地	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 今後、第4期集中改革プランの取り組み状況の評価を行っていくため。
	④ 類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 大綱・プランの進行管理はこの事業でしかできない。
効率性評価	⑤ 事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 事業費の計上はない。
	⑥ 人件費 (延べ業務時間) の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 集中改革プラン掲載項目関係課との連携をよくすることで、取りまとめ等にかかる時間の削減は可能であると考えられるが、その業務の性質上アウトソーシングは出来ないものとする。
公平性評価	⑦ 受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 行政改革に関する進捗管理事務であり、行政改革は住民福祉に大きく寄与するものであり適正である。
役割分担評価	⑧ 行政の役割分担の適正化	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 行政内部の管理事務であり、他団体への移行は不可能である。

3 評価結果の総括 (CHECK)

--	--

4 今後の方向性 (事務事業担当課案) (ACTION)

<p>(1) 今後の事業の方向性 (改革改善案)・・・複数選択可</p> <p><input type="checkbox"/>廃止 <input type="checkbox"/>休止 <input type="checkbox"/>目的再設定 <input type="checkbox"/>事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (有効性改善)</p> <p><input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (効率性改善) <input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (公平性改善)</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>現状維持 (従来通りで特に改革改善をしない)</p>	<p>(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持		○																			
	低下																					
<p>(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題 (壁) とその解決策</p>																						